

■ 移動時

⚠ 注意



自転車やオートバイの荷台に載せて移動しないでください。

※ 機械が落下し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



本機を移動するときは、必ずエンジンを停止してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

トラック等の荷台に本機を積み、移動する場合は、動かないようにしっかりと固定してください。

※ トラックから機械が落下し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

■ 作業時

⚠ 危険



作業状態のまま急に振り向かないでください。

後ろから声をかけられた場合、必ずエンジンを一時停止してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

エンジンがかかっているときは絶対に刈刃や飛散防護カバーに触れないでください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

作業中は点火プラグキャップ部、高圧線に触れないでください。

※ 電気ショックを受ける可能性があります。

エンジン停止後は、マフラが熱いので枯草等燃えやすい場所へ、絶対置かないでください。

※ 枯草等に引火し、ヤケドや火災の原因になります。

危険



危険を感じたときは直ちにエンジンを停止するか、機械を身体から離してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

異常な振動・音を感じたときには、すぐにエンジンを停止し各部の点検修理をしてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

ハンドルは、両手でしっかり握り、両足に平均に体重がかかるよう適当に開いてご使用ください。

※ 転倒、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

足を滑らせて転んだときや穴に落ち込んだときは、必ずスロットルレバーを戻し、回転を止めてください。

※ 転倒、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



燃料は、引火しやすいので注意してください。

※ ヤケドや火災の原因になります。

警告



草刈作業以外に刈刃を回転させたり、水や土を切ったりしないでください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

エンジン始動・運転中・停止直後は、しばらくはエンジン本体、マフラ等に触れないでください。

※ ヤケド等、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

飛散防護カバーは絶対外さないでください。

飛散防護カバーは必ず所定の位置に取り付けて作業してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。



刈刃は必ずメーカー指定の純正部品を使用してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

注意



作業中に立ち話は絶対しないでください。

話をするときはエンジンを止めてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

注意



作業を始めるときは、足場・周囲の状況をよく確認してから、ゆっくり始めてください。
刈刃部に草等が巻き付いて刈刃が停止した場合は、必ずエンジンを停止してください。
回転が止まったことを確認してから草等を取り除いてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

ハンドル等をしっかりと握ってください。

エンジンが回転すると逆方向に力がかかる場合（スラスト）があります。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

2人以上で作業する場合は呼笛等で、合図の方法をあらかじめ決めて、合図の徹底を図ってください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

作業者に近づく場合は、合図をしエンジンが停止したことを確認してから、必ず前方から近づいてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

草刈作業は、足場のよいところで、正しい姿勢でバランスを取って行ってください。

※ 転倒し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

エンジンの回転速度をむやみに上げず、メーカーの推奨する回転速度を守ってください。

※ 無理な空ぶかしは機械の寿命を縮める原因になります。

スロットルレバーはゆっくり操作してください。

※ エンジンの急加速は機体への悪影響や、傷害事故につながる場合があります。

刈刃は石や切株等の硬いものに当てないようにしてください。

万一、当てたときは、すぐにエンジンを停止し、刈刃に異常がないかを確認してください。異常があった場合は作業を中止し、新しい刈刃に交換してください。

※ 刈刃の破損や傷害事故を引き起こすおそれがあります。

場所を移動するとき、刈払機を地面に降ろすとき、作業を中断するときは必ずエンジンを停止してから行ってください。

※ 刈刃の破損や傷害事故を引き起こすおそれがあります。

■ 作業後

◆使用後の手入れ

警告



各部の締め付けネジのゆるみがないか、刈刃に損傷がないかを点検し、ネジのゆるみがあれば締め付け、刈刃に損傷があった場合はメーカー指定の純正の刈刃と交換してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

点検整備・給油等は必ずエンジンを停止してから行ってください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

部品を交換する場合は、必ずメーカー指定の純正部品をご使用ください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

高温部の清掃をするときは、冷えてから行ってください。

※ ヤケド等、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



◆保管

注意



燃料を保管する場合、ポリ容器は使用しないでください。

※ 1 カ月以上ポリ容器に入れておくと燃料が腐ります。

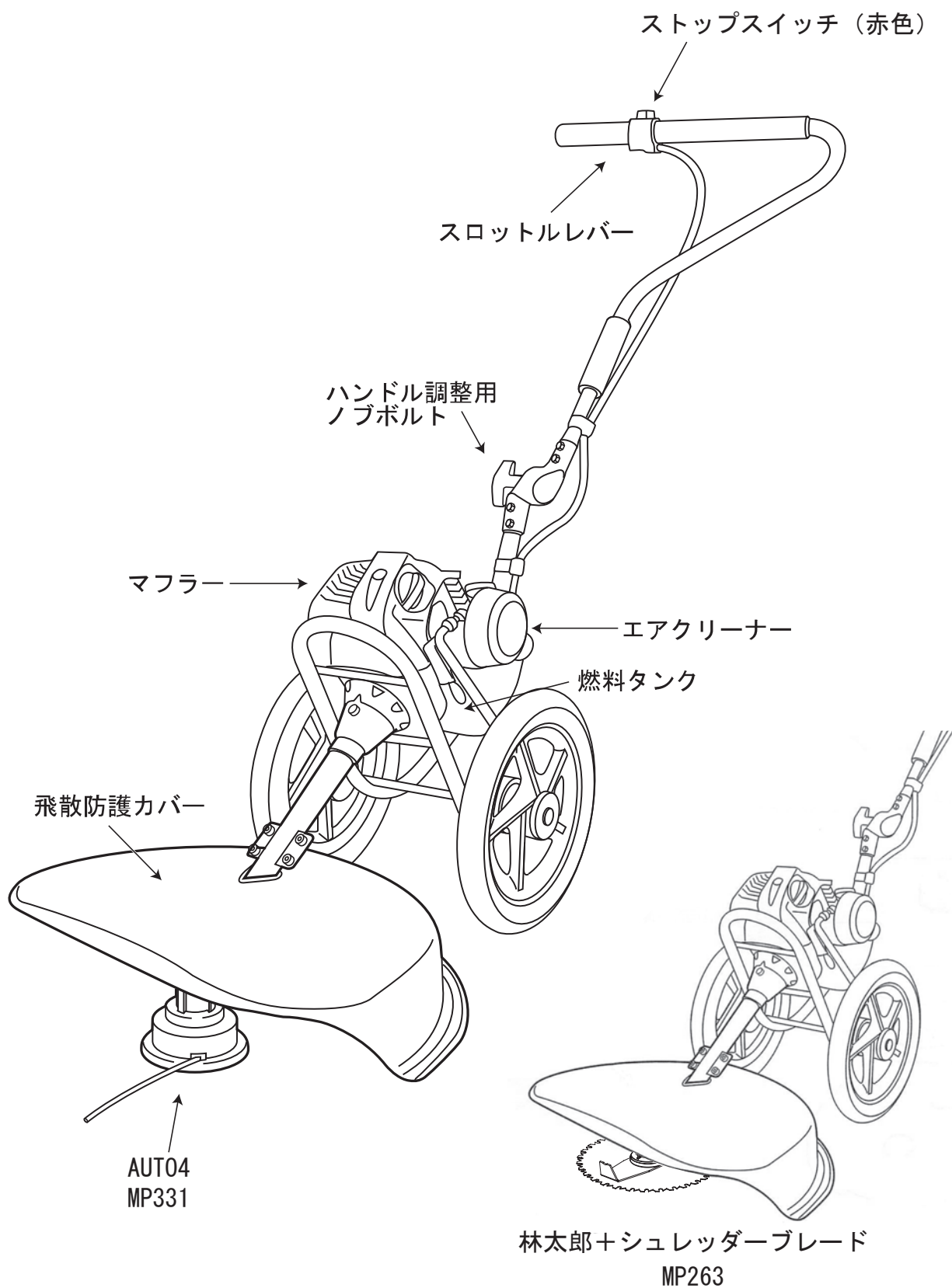


子供の手の届かないところに保管してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

2. 各部のなまえ

MP263 MP331



3. 組立て

3.1 本機の取り付けと調節

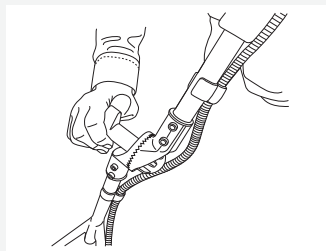
■ ハンドル

◆ ハンドルの調整

ハウジングの↓ラベルと、
パイプの↑ラベルの
位置を合わせ奥まで差し込んで組立



ハンドルの高さ調整用ノブボルトを緩め
使いやすい位置にハンドルを起こしてノブ
ボルトを締め込みます



■ 刈刃

⚠ 危険



専用の刈刃以外を絶対に使用しないでください。

※ 傷害事故につながるおそれがあります。



刈刃は決められた部品と工具で確実に締め付けてください。

※ 締め付けが不完全だと、作業中に刈刃が外れ、傷害事故につながるおそれがあります。

刈刃は、良く切れる状態か、刃こぼれ、曲り割れ等がないか点検してください。

※ 刈刃の破損や傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意



刈刃は石や切株等の硬いものに当てないようにしてください。

万一、当てたときは、すぐにエンジンを停止し、刈刃に異常がないかを確認してください。異常があった場合は作業を中止し、新しい刈刃に交換してください。

※ 刈刃の破損や傷害事故を引き起こすおそれがあります。

刈刃の取り付け・取り外しのときは、手袋をして作業してください。

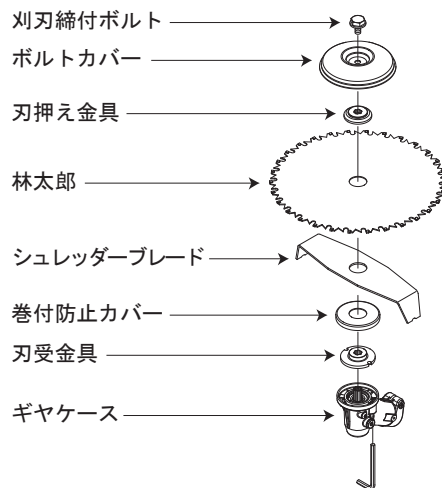
※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

◆刈刃の仕様

- 必ずMP263、MP331それぞれ専用刃をご使用ください。

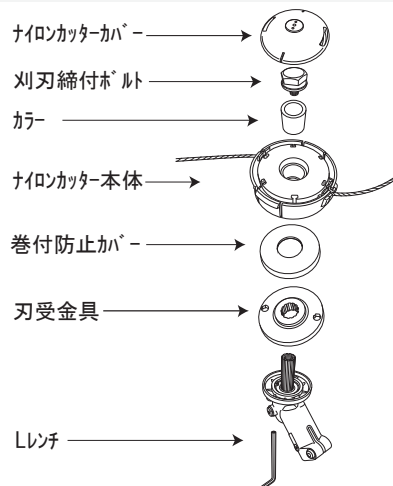
◆取り付け **MP263** 林太郎+シュレッダーブレード

- 1** 次の順序で取り付けます。
 - (1) 刃受金具
 - (2) 巻付防止カバー
 - (3) シュレッダーブレード
 - (4) チップソー林太郎
 - (5) 刃押え金具
 - (6) ボルトカバー
 - (7) 刈刃締付ボルト
- 2** Lレンチで刃受金具を固定します。
 - Lレンチでギヤケースの回り止め穴と、刃受金具の回り止め穴で固定します。
- 3** 刃受金具が固定されていることを確認し、ソケットレンチで十分に刈刃締付ボルトを締め付けます。



◆取り付け **MP331** AUTO4

- 1** 次の順序で取り付けます。
 - (1) 刃受金具
 - (2) 巻付防止カバー
 - (3) ナイロンカッター本体
 - (4) カラー
 - (5) 刈刃締付ボルト
 - (6) ナイロンカッターカバー
- 2** Lレンチで刃受金具を固定します。
 - Lレンチでギヤケースの回り止め穴と、刃受金具の回り止め穴で固定します。
- 3** 刃受金具が固定されていることを確認し、ソケットレンチで十分に刈刃締付ボルトを締め付けます。



◆取り外し

取り付けと逆の手順で実施してください。

4. 始業前点検と試運転

4.1 定期点検表と注意事項

警告



各部の締め付けネジのゆるみがないか、刈刃に損傷がないかを点検し、ネジのゆるみがあれば締め付け、刈刃に損傷があった場合はメーカー指定の純正の刈刃と交換してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

点検整備・給油等は必ずエンジンを停止してから行ってください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

部品を交換する場合は、必ずメーカー指定の純正部品をご使用ください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

高温部の清掃をするときは、冷えてから行ってください。

※ ヤケド等、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

機械の寿命は、手入れの良否によります。下記の表の項目について点検整備を行ってください。

4.2 始業前点検

■ エアクリーナエレメントの汚れ

エアクリーナエレメントの汚れは、始業前に点検を行ってください。

■ ボルト、ナットのゆるみ点検

ボルト、ナットのゆるみは、始業前に点検を行ってください。

■ 燃料漏れ点検

燃料漏れは、始業前に点検を行ってください。

■ 刈刃締付ボルトやその他ネジのゆるみ、損傷

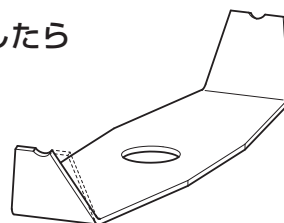
刈刃締付ボルトやその他ネジのゆるみ、損傷は、始業前に点検を行ってください。

■ 刈刃の切れ味、ひび割れ、偏心、偏摩耗

刈刃の切れ味、ひび割れ、偏心、偏摩耗は、始業前に点検を行ってください。

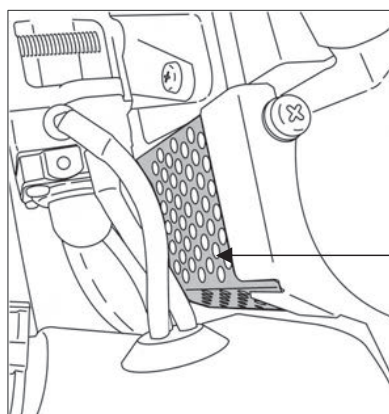
- ・MP263：シュレッダーブレードの消耗限界サインまで摩耗したら交換してください。

※ 障害事故を引き起こす恐れがあります。



■ 防塵カバーの清掃 MP263

防塵カバー附着したゴミを取り除いてください。



防塵カバー